

Ayagumo

Anjo Gakuen Highschool Newsletter

彩雲

2021
vol. 125
発行日/2月15日



特集

陸上競技部

悲願の都大路出場！

／卒業生へのメッセージ／

時を待つ心も必要

わるいときがすぎれば、よい時が必ず来る。

おしなべて、事をなす人は、必ず時の来るのを待つ。

あせらずあわてず、静かに時の来るのを待つ。

時を待つ心は、春を待つ桜の姿といえよう。

だが何もせずに待つことは僥倖（ぎょうこう）を待つのに等しい。

静かに春を待つ桜は、一瞬の休みもなく力をたくわえている。

たくわえられた力がなければ、時が来ても事は成就しないだろう。

松下幸之助

※僥倖（ぎょうこう）…思いがけない幸い。偶然に来る幸運。

パナソニック創業者である松下幸之助の言葉である。世の中は、とりわけ経済社会は大きな波でもって動く。それゆえに、個人の資質としても、じっくりと心を練り、ブレのない自分の生き方を確立した人こそが事をなす。それは、これまで日本を大成功に導いた人々の多くを見ればわかるように、「時を待つ心」が必要なのだ。一年に一度の桜の花と香りをかぐ中で、日本人は世界一「時を待つ」ことのできる民族をつくってきたと考えたようである。

世界のすべての国の人々が、新型コロナウイルス感染症と戦っている現在、この感染症によって、「三密禁止」「ソーシャルディスタンス」「外出自粛」等、様々な我慢を強いられ、さらにこれだけ長期間、そしていつ終わりを迎えるのかわからない中、多くの人はストレスを溜めていると思われる。

世界一「時を待つ」ことのできる日本に住む我々は、この間に休むことなく力をたくわえ、もう少し我慢し時を待とうではないか。

時を待った後、たくわえた力を発揮し、新しい社会を築くために……



安城学園高等学校
学校長 関 神一

表紙の写真

陸上競技部 悲願の都大路へ

愛知県予選大会では1区から首位を譲らず、5区間すべてが区間賞という最高の結果で、全国への切符を手に入れました。選手は有言実行、「笑顔」で京都の街を駆け抜け、初出場13位という全国を驚かす順位でゴールしました。

Contents

1	巻頭言
2	卒業生へのメッセージ
3-4	響き合うまちと学校
5	生徒会活動報告
6-8	学校行事
9-14	部活動Report ・特集「陸上競技部」
15	TOPICS

卒業生へのメッセージ



学年主任 村松 大輔

3年生のみなさん、保護者のみなさま卒業おめでとうございます。

3年前の春、みなさんはどんな気持ちで安城学園に入学したのでしょうか？ときどきわくわくしながら参加したフレッシュマンキャンプで友人がつくれた人もいます。新入生歓迎会でミュージカルを見て「私もやりたい!」と思った人もいます。思った以上にたくさんの教科があって、「高校のテストは大変だ」と思った人もいるかもしれません。部活動の先輩方に圧倒され、ついていくのが必死だった人たちがいたと思います。

いつのまにか高校生活にも慣れてきて、高校生活も半分過ぎたかと感じた矢先の1年前、世界は一変しました。

インターハイなど部活動の試合、演奏会、ミュージカル一般公演、修学旅行、体育祭、卒業フェスティバルなど様々な行事が中止になりました。毎年4月に行われる1年生のフレッシュマンキャンプもなくなり、アシスタントに選ばれた子たちもいろいろな思いを抱えながら、1年生へメッセージを送りました。その思いはきっと受け継がれていくことでしょう。

悩み、怒り、ストレスなどをどこにぶつけたらよいかわかりませんでした。進路目標達成のためにできる精一杯の努力をしながら、普段の高校3年生よりもさらに過酷な高校生活を送ってきたのだと思います。就職の試験も例年よりひと月遅れ、センター試験から共通テストに代わり、準備していたことも変更され、社会全体が振り回されていたように思います。

学年集会で、私は「『コロナだったから』ではなく『コロナだったけど』と言えるような残りの高校生活を送ってほ

しい」という話をしました。みなさんはコロナ禍でもできることを考え、感染予防をきちんと行い、立派に学園祭を行いました。その後の球技大会も今までとは違い、感染予防の徹底に努めながら、クラス一丸となつてできる行事を楽しみました。

部活動、自主活動、学習と安城学園高等学校はいろいろな場面で頑張っている子たちがいます。友だちとおしゃべりするのが楽しみで学校に通う子もいます。中には学校へ来ることに疑問を感じている子もいるでしょう。いろいろな考え、いろいろな価値観を持った人たちのいる「おいしい鍋」のような安城学園高等学校で、あなたたちは育ちました。みなさんは、趣味の合う友だちとのおしゃべりができる友人関係、悩みを相談できる友人関係、切磋琢磨してライバル同士のお互い一目置く友人関係、時には厳しく時には優しく導いてくれた先生、そしていつも支えになってくれた家族、いろいろな人間関係を経験学びました。社会に出ても十人十色だということを感じながら、安城学園高等学校で学んだ人間関係を大切にしてほしいと思います。

4月から新しい生活が始まります。「本当の贅沢というものとはたったひとつしかない。それは人間関係における贅沢だ」(サン＝テグジュベリ)。あなたたちはこの安城学園高等学校での高校生活で、いろいろなことを身につけました。そのことがこれからいろいろな場面で生かされると信じています。コロナだったからこそ智慧を出し合い、乗り越えられたみなさん、自信と誇りをもって社会へ旅立ち、素敵な大人になってください。



響き合う まちと学校

吹奏楽部

ラグーナ蒲郡演奏会

2020年12月12日

ラグーナ蒲郡

多くの方に、笑顔と音楽を！

3年5組

福田 京

(刈谷東中学校出身)

寒い中、たくさんの方々が足を止めて聴いてくださり演奏会が盛り上がりしました。このコロナ禍で苦しんでいる方々に少しでも笑顔になっていただけるよう、これから私たちの音楽をできるだけ多くの方に届けられるよう、部員一同頑張っていきたいと思えます。今後とも安城学園高等学校吹奏楽部の応援よろしくお願いします！



定期演奏会

2021年2月11日刈谷アイリスホール

たくさんの人に

支えられた3年間に感謝

3年10組

西部 夏実

(桜井中学校出身)

3年11組

近藤 奈津美

(梅坪台中学校出身)



この日をもって私たち3年生は引退となりました。たくさんの方に聴きにきて頂くことができ、生の音楽をお届けできることは、リモート練習で頑張ってきた私たちにとって夢のような時間でした。温かく最後まで支えてくださった顧問やコーチの先生方、どんなときも近くで応援してくれた家族、そして仲間みんなが居てくれたおかげで頑張ることができました。後輩のみんなには、音楽ができる幸せと喜びを大切にこれから頑張りたいと思います。沢山の人の支えられながら音楽ができたことを幸せに思います。応援ありがとうございました。

合唱部

第16回定期演奏会

2020年12月19日

岡崎シビックセンター

安心して楽しめる演奏会づくり

2年2組

鳥山 菜子

(安城西中学校出身)



私たちは、感染症を防ぐため本番もマスクを着用するなどの対策を施し、お客様に安心していただける演奏会づくりをしました。慣れない環境の中でしたが、コンクールで歌わせていただいた「通りゃんせ」と「あんたがたどこさ」や、振り付けや楽器などで演出を行った「ディズニー曲メドレー」などを通して、お客様に笑顔をお届けできました。大変な状況ではありましたが、これから多くの人たちに私たちの歌を聴いて楽しんでいただけるよう練習を重ねていこうと思います。

東日本から学ぶプロジェクト 東北ボランティア活動

東日本と繋がる プロジェクト2020

男子サッカー部顧問 蔵野 辰徳

2011年から毎年行かせていただいている東北ボランティア。今年はコロナの影響で行くことができませんでした。それでも、せっかくできた繋がりを止めたくないという想いから、今年は安城学園に来てもらう形とリモートで行うことにしました。

第1弾は、「ともしびプロジェクトキャンドル工房」代表の杉浦さんに来ていただき、講演をしてもらいました。杉浦さんには、震災をきっかけに東北に移住した人として、外から見た震災と仕事を見つける発想力の話をいただきました。第2弾は、「南三陸ホテル観洋」の伊藤さんに、震災のお話や防災のお話を中心にしていただきました。ZOOMで繋いで、現地の様子もLiveで届けていただいたり充実した内容でした。

現地に行かないとわからないことは、やはりあります。しかし、現地に行かなくても感じたり伝わるものはあります。今後も現地との交流を続けながら東北震災を風化させない活動を続けていきます。



10周年を迎えた 大船渡東高校との交流

生徒会会長 2年9組
大塚 亜美
(前林中学校出身)

1月8日に、大船渡東高校生徒会の皆さんとオンラインで10周年記念品贈呈交流会を行いました。交流の10周年のお祝いに、大船渡東高校から手作りの消毒スタンドをいただきました。本校からは記念マークの入ったタオルとひまわりの種を贈りました。本来ならばお互いの学校を歩き来して交流を続けていくところですが、コロナ禍の中お会いすることができませんでした。しかし交流が始まって10周年である節目の年にオンラインで交流できたことはとてもうれしいことでした。大船渡東高校さんはまだ冬休みでしかも大雪でしたが、とても温かく迎えていただき感謝しています。

今後は、ひまわりを育てる活動を軸に交流を続けていければと考えています。いただいた消毒スタンドは、食堂前の購買横に置いてあります。ぜひ利用ください。



笑顔の輪が広がることを願って ～福島ひまわり里親プロジェクト

1年4組
神谷 美葵
(矢作中学校出身)

昨年も多くの方に、東日本大震災直後から復興を目的として始まった「福島ひまわり里親プロジェクト」に協力していただくことができました。本校では4年目になりますが、例年通り学内で呼びかけ、種を配り、家庭で育ててもらいました。また特別常任委員や多くのクラブ生の協力で、学校で育てたひまわりは7月末には鮮やかな黄色を輝かせ、学校を華やかに彩りました。

昨年は新たに、デンパークの方々にもひまわりの里親を引き受けていただけることになりました。コロナ感染症の影響で登校できないなか、先生方がデンパークの職員の方々と種をまき、1ヶ月後登校できるようになった頃に先輩たちが苗を移植。そしてさらに1ヶ月後、見事なひまわりが開花し、来場者の方にもひまわりの種を配ることでしました。また、「福島ひまわり里親プロジェクト」についての説明や、本校と福島との繋がりなどの看板も設置してもらいました。本校とデンパークとの交流を新聞で知り、学校にひまわりの種を届けてくれた方もいました。

今年の夏はデンパークに加え、新たに安城西中学校や、東日本大震災後から交流が始まった岩手県立大船渡東高等学校も「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加してもらえることになりました。コロナ感染症の影響が広がる中でも、「福島ひまわり里親プロジェクト」参加の広がりがあったことをうれしく感じています。

福島は今も「風評」と「風化」と闘っています。震災から10年、今年も「離れていてもできること」「遠い場所に思いをはせること」をテーマに、活動を進めていきます。活動を通して、福島にも私たちにも、笑顔の輪が広がることを願って…。

生徒会活動報告

一億円募金

たくさんの生徒が 高校生活を楽しめるように

1年1組 佐野 潤（篠目中学校出身）

今年度の一億円募金は、対外常任委員だけではなく部活生さんにも協力してもらい、募金ウィークに合計5万6千131円集めることができ、保護者会の期間には生徒さんや保護者のご協力で3万2千131円集めることができました。ご協力ありがとうございました。一億円募金で集められたお金は、学校の授業料などを払うことが難しいご家庭に渡る無利子の奨学金になります。よりたくさんの生徒が将来高校生活を楽しめるようにするために、これからもご協力よろしくお願いします。



校内掃除

クラブ常任委員会 学校を綺麗に

2年1組 高橋 にいな（碧南東中学校出身）

生徒会クラブ常任委員会では、クラブ生の皆さんにさまざまな協力をしてもらっています。その中で、今回新しく始めた活動があります。それは校内掃除です。生徒会の中でも学校を綺麗にしたいという意見がたくさん出ました。そこで、学校内をたくさん使っているクラブ生の皆さんに意見を聞き、学校の気になる場所のアンケートを取りました。各部活で掃除をしてくれているところがあるので、その部活動を重点的に意見を聞いたほか、以前から毎週金曜日に生徒会で階段の掃除を始めていましたので、ぜひその時間を生かし、クラブ生の皆さんに聞いた気になる場所を掃除していこうと決めました。

アンケートをとってみると、体育館下の流しや体育館下のトイレが気になるなど、今まで自分たちでは目に届かなかったところまでたくさんの意見をいただきました。その意見を元に、金曜日に、生徒会で階段や廊下・流しなど学校の気になる場所を掃除しています。クラブ生の皆さんにも、綺麗になったことを気づいてもらえるように頑張っていきます。

PASS LIFE

「PASS LIFE」で世界を笑顔に

2年C1組 及川 あすか（東山中学校出身）

「Pass Life」という企画を新しく行いました。「Pass Life」は、物を寄付し第2の人生をスタートさせると言う意味になります。この企画には世界中で困っている誰かを助けたいという思いを込めました。また寄付するだけでなく、発送費の一部にワクチン募金も含まれています。

世界には貧困や紛争などの影響で貧しい生活をしている人がいること、そして日本では起こっていないことを経験している子どもたちがたくさんいることに気づかされました。お金が無いから欲しいものが手に入らない、学校にも行けないという生活を、現代の私たちは感じたことはありません。今、楽しく幸せで過ごせていることも当たり前だと思っていはいけなかったと思います。子どもの時に遊んでいたおもちゃ、子どもの時に使っていたぬいぐるみ、こどもの時に使っていた文房具など今の私たちに必要でなくなった物を、必要としている子どもたちに渡し再利用してもらいたいと強く思いました。家で使わなくなった物を寄付することで、少しでも多くの子も子どもたちが元気に楽しく過ごしてくれたらいいな、日本を含め世界全体が笑顔であふれたらいいなと思っています。



購買常任委員会

購買・食堂の よりよい環境づくりを目指して

1年1組 渡邊 陽斗（東山中学校出身）

購買常任委員会では、購買・食堂をより利用したいと思えるような環境づくりのため、また生徒にも購買・食堂で働いている方にもお互いが気持ちよく利用できるように活動しています。主な仕事内容は、購買の飾り付けをしています。例えば、12月のならクリスマスのイラストを飾り付けたり、2月ならバレンタインでハートをたくさん飾り付けたりしました。他には、購買・食堂の意見箱の管理をしています。今後は、3月に春に関する飾り付けや、4月に入学式に関する飾り付け、そして意見箱に届いた意見の反映に力を入れて活動していこうと思っています。

学校行事

[2020.11-2021.2]

球技大会

2020.12.17 体育館

球技大会女子に優勝して

2年7組 山下 真優(大府中学校出身)

私たちのクラスは球技大会で優勝しました。体育の時間の練習で試合をやっても、勝つことよりも負けることの方が多かった自分たちが優勝することができたのは、クラスの団結力が一番強かったからだと思います。当日も、負けそうになったりミスが続いたり暗い雰囲気になりそうときには、全員で声を掛け合い励ましあい、1点を取ったときや試合に勝ったときはどのクラスよりも盛り上がりました。優勝した瞬間は2年7組がひとつになり、全員で喜び合いました。



3年7組、男子優勝・女子準優勝!

3年7組 長尾蓮人(安城南中学校出身)

失われたたくさんの行事がある中で、開催された高校生活最後の球技大会。3年7組は男子優勝、女子準優勝と素晴らしい結果で終わることができ、とても良い思い出になりました。これはクラスの仲間の練習の成果だと思います。みんなが試合でプレーしている姿はとてもカッコよくて輝いていました。みんなが心で繋いでくれたから、最高の結果に歓喜し、良い思い出ができたのだと思います。3年7組のみんな、球技大会だけでなく、一生忘れられない、たくさんの思い出をありがとう。3年7組が最後のクラスで良かったです。みんな大好き。



弁論大会

2020.12.15 体育館

真剣に話を聞いてくれた方々に感謝を

商2年1組 濱手 咲弥(安城南中学校出身)

僕は自分のことを話すことが怖かったです。正直、あまり良いと思えないようなことが多くありましたが、その経験から僕がどう変わったのかいろいろ伝えたいことがあったので、思い切ってスピーチしました。学年のみんなは僕の話真剣に聞いてくれました。弁論大会のような場で自分の伝えたいことを大勢の人に伝えることができて、嬉しく思っています。先生方の協力もあり、最優秀賞をいただくことができました。弁論大会で発表できて本当に良かったと思っています。真剣に話を聞いてくれた学年のみんなや先生方には本当に感謝しています。ありがとうございました。



針供養

2021.1.14 視聴覚教室

針供養に参加して

2年5組 神谷 飛雄馬(高浜南中学校出身)

僕は裁縫があまり得意ではなく、エプロンを完成させられるのかとても心配でしたが、丁寧に頑張って作った結果、針供養の場で学年を代表して発表することができたので良かったです。ヒモ付けなどの布が重なった部分は、布が厚くきれいに縫うことがとても難しかったです。またミシンを使うときは、まっすぐ縫うことが大変で何度もやり直しをしましたが、最後には作品を仕上げることができました。

このように作品を仕上げることも針という道具のおかげだと思い、感謝の気持ちを込めて針を供養しました。これからも生活を支えてくれる物や人に感謝していきたいです。



第33次創作ミュージカル

公演ができることを信じて

2年7組 阿藤 明穂(朝日中学校出身)

第33次創作ミュージカル「line」、今回の舞台は未知のウイルスと誤った情報にどう向き合っていくのかというものです。縦7m×横13mの大きな布に舞台背景を描き込む書き割り作業では、実行委員の生徒と多くの先生方・父母の皆さんが、ペンキまみれになりながらも楽しんで2日間の作業を行っていました。

たくさん準備をしてきた創作ミュージカルですが、一度目の公演を予定していた卒業フェスティバルは残念ながら中止になってしまいました。どうか本番を迎えたいという思いから、感染対策を徹底した上で、サルビアホールにて無観客収録という形になりました。新入生歓迎会や一般公演ができることを信じてこれからも活動していきます。一般公演の際にはぜひお越しください！



2020年度 創作活動発表会

2021.1.22 安城市民会館サルビアホール



弦楽演奏

3年10組 福島 由利華(犬山中学校出身)

私は吹奏楽部なので、他の楽器も触れてみたいと思い弦楽を選択しましたが、とても難しく初めは全く楽譜通りに弾けませんでした。弓の動きに合わせられず、音程がとれず弾いていて辛いと思うことがたくさんありましたが、終わりに近づくにつれて少しずつ弾けるようになり、1年間を通して音楽の楽しさと弦楽器の難しさを学びました。本番では間違えたり上手く弾けなかった部分がありましたが、1年間の練習の成果を発揮できたのでとても満足しています。

フューチャーセッション

3年9組 山本 康起(安城西中学校出身)

フューチャーセッションを通して自分が感じたのは、「自分の伝えたいことを他人に伝えるのはとても難しい」ということです。僕たちの発表は「筋トレ×コロナウイルス」でした。誰にでも簡単にできることを考えたつもりでしたが、実際に発表してフィードバックを受けると全然簡単ではないことがわかりました。相手にわかりやすく理解できるように説明の工夫や実際にやってみるなど、いろいろと考えました。将来、相手に自分の考えを伝えることは今以上に必要になってくるので、とても良い経験ができたと思います。

幼児と体育遊戯

3年6組 野口 菜々美(竜南中学校出身)

将来看護師になりたいと思っているので、いつか役立つようにと、子どもたちと触れ合える講座を選びました。コロナの影響で幼稚園の子どもたちと遊ぶことはほとんどできなかったけれど、幼児の気持ちになってダンスを考えたり教え方を工夫することはとても楽しかったです。発表会では幼児とダンスができずとても残念でしたが、一緒に練習することができて楽しかったです。ステージに子どもたちがいなくてさみしく思いましたが、最後までやり抜くことができ、コロナ禍でも満足できるダンスができて良かったと思います。

旅と鉄道

商3年1組 野場 恋華(若園中学校出身)

今まで電車には興味がありませんでしたが、この講座を選んでたくさんのことを学ぶことができました。車窓からの景色を感じることができ、またJRや名鉄などいろいろなことを新たに発見できました。鉄道に関する問題を作ったり紹介文を作ったりするのは大変だったけれど、このような経験をすることができて良かったです。この講座でしか学べない知識を学ぶことができました。今回の経験を活かして、これからも鉄道についてたくさんのことを学んでいきたいと思います。

創作ダンス

2年1組 磯谷 怜美(岡崎北中学校出身)

今年はコロナの影響で約2か月の休校期間があり、授業数が少なくダンスを練習する時間が限られていたはずなのに、一人一人の個性があふれ出てとてもキラキラしていたステージだったと思います。来年は自分がステージに立ち最高のパフォーマンスをしたいと思います。先輩たちはマスクをしながら踊っていましたが、マスクの中から笑顔があふれ出していて本当に素晴らしかったと思いました。

コーラス

3年1組 大城 愛美(上郷中学校出身)

今まではずっと観客として見ていただけでしたが、実際に舞台に立ってみると、思ったよりも緊張せず楽しく発表できました。リハーサルではノー・ミスで上手くいきましたが、本番では逆に集中力が足りなく1つミスをしてしまいました。また自分が歌っていない部分では、手を叩いていればよいのか、曲によってはそうではないのかと考えすぎて、あまりリズムに乗れませんでした。この2点をとても反省していますが、みんなで市民会館のステージで楽しく歌えたので本当に良かったと思います。最後に、とてもいい思い出ができました。ありがとうございました。

自然と科学

3年6組 今泉小花(翔南中学校出身)

今回は2年生と一緒に、最後の「自然と科学」でした。早くから学校へ来てパンの生地の仕込みをして、前回よりも美味しく焼き上げることができたと思いました。実際にとてもおいしく食べられました。今日の授業で最後となる小野先生に、きちんとお礼ができて良かったです。小野先生の最後の授業、とても嬉しい気持ちになりました。ありがとうございました。

部活動 Report

2020年11月~2021年1月

特集

陸上競技部



愛知県高等学校駅伝競走大会、全区間区間賞で初優勝！悲願の都大路出場！

3年5組
永谷 千宙
(西尾中学校出身)

2020年5月コロナ禍でインターハイ中止という喪失感の中、12月の全国駅伝開催という希望の光が私たちに元気とパワーを与えていました。

ずっとずっと目標にしていた愛知県高校駅伝優勝からの全国駅伝出場。キャプテンという大役を背負いながら、自分のタイムを縮めることは本当に大変でした。さらに今年はコロナの影響で出場できる大会が軒並み中止となり、自分の力を発揮できる場所もなく不安な時期もありました。それでも頑張る仲間の姿を見て、私も走りたい気持ちがあふれ、これまで以上に力が湧きました。愛知県駅伝大会当日、もちろん緊張はしましたが、それ以上に走ることが楽しいと思える気持ちが大きかったです。確実に言えるのは、選手5人ではなく、チーム長距離で勝ち取った優勝です。普段通り楽しく、仲間のために走りきれたことが、愛知県大会優勝・初全国大会出場への大きな結果をうみました。

全国でも、京都の街に安学旋風を吹かせることができ、安城学園高等学校という名を全国に広められたので嬉しかったです。来年に向けて、頑張る後輩たちをこれからも応援し続けます。嬉しいこと、悔しいこと、すべて振り返れば幸せで、悔いはありません。本当にたくさんの応援ありがとうございました！

可能性は無限大 笑顔で駆け抜けた高校駅伝

陸上競技部顧問 石田 桂

駅伝挑戦9年目で掴んだ全国の舞台。今年は力をつけてきていたので「もししたら愛知県優勝できるのでは…」という期待はありました。しかし1区から首位を譲らず、5区間すべてが区間賞という最高の優勝をやったのけるなんて…。選手の無限の可能性に驚かされたとともに、「本当にこんな日がくるなんて」と、選手の努力はもちろん、今の仲間に加えこれまでの卒業生の努力が繋いでくれた全国獲得に感無量でした。

憧れの都大路に行くまでには多くの応援をいただけたことに幸せを感じ、プレッシャーではなく「楽しみ」の方が勝っていました。選手は「笑顔で走ろう!」を合言葉にしており、コロナで大変な中で自分たちの走る姿で見る人に勇気を与えたいと考えていました。選手は有言実行、「笑顔」で京都の街を駆け抜け、初出場13位という全国を驚かす順位でゴールしました。選手に「無理なことなんかない」と無限の可能性を信じることの大切さを教わり、素晴らしい体験をさせてもらいました。

全国高等学校陸上競技大会2020 個人800m 全国2位

2年5組

小山 愛結

(六ツ美北中学校出身)

昨年の全国大会では、力を発揮できずに予選落ち。悔しさ、情けなさ、また応援してくださっていた方々に申し訳ない気持ちになったとともに、来年は必ず全国で入賞できる選手になると心に決め、練習に励んでいました。

今年は新型コロナウイルスの影響でインターハイがなくなってしまいました。代替え試合として10月に全国高校選手権が開催されました。「今年の愛結は強いから大丈夫」。仲間の言葉のおかげで自信をもち、スタートラインに立つことができました。予選から厳しいレースにはなりましたが、初めて全国の決勝に進み2位という結果を残すことができました。このような結果を出せたのは、多くの方々の応援のおかげです。これからもこの結果に満足せず、日々の練習に励んでいきます。応援ありがとうございました。



全国高等学校陸上競技大会2020 4×100mR・4×400mR

2年5組

中根 葵

(矢作中学校出身)

今年初めての全国大会。先輩方が引退し新人チームで挑みました。目標は4×100mRでは46秒8台・4×400mRでは3分50秒を掲げ、バトンパスでロスがないように何度も練習を重ねたり、個人の走力を上げたりするなど大会までに改善点を見直しました。結果4×100mRは46秒87と目標タイムを達成でき、メンバー4人とも「楽しく走れた」と感じることができました。総合順位は13位で惜しくも決勝には進めませんでした。現在のベストが出せたお手応えを感じています。4×100mRは悪天候の影響で思った走りができず悔しい結果ではありましたが、全国という大きな舞台で走れたことを誇りに思い、来シーズンの大会ではリレー種目でも個人種目でも悔いの残らないよう、「安城学園高等学校を選択して良かった」と思えるように、日々の練習を全力で取り組んでいきたいです。

ホームページ



YouTubeチャンネル



女子バスケットボール部

ウィンターカップ2020

第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会出場



女子バスケットボール部YouTubeチャンネル▶



3年8組

片山 愛悠

(鯖江(福井)中学校出身)

目標としていた「メインコートへ行く・日

本一」をかなえることはできませんでした

が、コートに立つ5人だけではなく、ベンチメンバー、応援メンバー全員が自分のやるべきことを全うし、全国ベスト8という結果を得ることができたと思います。2017年のウィンターカップ決勝で2点差で負けたあの日から「その2点を削り出せ」というスローガンを掲げ続けてきましたが、2018年そして2020年のウィンターカップは、2点差で負けるという形で終わってしまっています。新チームは新たに「その2点、その1秒を削り出せ」というスローガンのもと、「日本一」という目標に向かって再スタートしています。引退した3年生は安城学園高等学校女子バスケットボール部で学んだことを次のステージで活かし、下級生はこの負けから学び、今年こそ「日本一」になれるよう努力していくと思うので、今後も女子バスケットボール部の応援をよろしくお願いします。

女子バレーボール部

One for all, all for one



2年5組

澤田 あさひ

(猿投台中学校出身)

コロナ禍の状況の中で練習ができない期

間、リモートでコミュニケーションをとったり

家で筋トレなどを行い、一人ひとりがそれぞ

れにできることを頑張ってきました。12月19・20日に、新チームになって初めての西三大会が行われました。決勝まで勝ち進み、いつもは戦うことのできないシード校の岡崎学園と戦うことができました。結果は負けてしまいましたが、今の自分たちのレベルや4強の強さを改めて感じることができました。この悔しさ、学んだことをバネに、チーム全員で目標達成に向けて頑張ります。

卓球部

第48回全国高等学校選抜卓球大会東海選考会兼 令和2年度東海高等学校新人卓球大会



2年2組

鈴木 涼香

(末野原中学校出身)

私たち卓球部は、12月23～25日にスカイ

ホール豊田で行われた東海大会6位という

成績で、3月に行われる全国大会に出場が決

定しました。今年度はコロナの影響もあり大会がほとんど行われないなか、日頃の練習の成果を発揮することができました。これも日頃から支えていただいている保護者・先生・コーチ、そしてともに頑張っている仲間のおかげだと感謝しています。現在緊急事態宣言が延長され、試合の開催も危ぶまれますが、悲願の全国大会1勝を目指し、チームカラーである「楽しく強く」を合言葉に頑張りたいと思います。

ダンス部

USA Regionals 2021東海大会 マイナビHIGH SCHOOL DANCE COMPETITIONに挑戦



2年2組
成瀬 愛莉
(六ツ美中学校出身)

1月に、初参加となる「USA Regionals 2021東海大会」と「マイナビHIGH SCHOOL DANCE COMPETITION」に挑戦しました。どちらの大会も映像審査となったため、体育館を借りて映像を撮影しました。舞台上で踊るときとは違う注意点がたくさんあり苦労しました。笑顔で声を掛け合ってお互い励まし合い、納得のいくまで何度も撮影しました。毎年1月に行われる合同自主公演も、各校で撮影した映像をネット上に発表交流する形になってしまいました。大勢の前で踊ることができない悔しさを感じていますが、ダンス部同士でお互いに披露し合えることでやる気を高められています。

全員で踊る練習は限られた時間でしかできないので、短時間で集中して揃えられるよう、そのために必要な体力作りや基礎練習に時間をかけて技術力を高めています。今後、皆さんの前で踊れる日が来ることを楽しみにしています。ダンス部の応援よろしくお願いします。

野球部

花の咲かない寒い冬は 下は下へと根を伸ばせ



野球部顧問 増永和大

現在オフシーズンで公式戦・練習試合等は行っていないですが、日々のトレーニングを必死に頑張り、春の大会・夏の大会に向けて努力しています。新3年生にとっては最後の一年になるため、悔いの残らないよう一日一日を大切にしたいと思います。コロナ感染予防を万全に行いながら、暑い夏にしたいと思います。ご声援よろしくお願いします。

女子サッカー部

第29回全日本高等学校女子サッカー選手権 県準優勝、3年ぶりの東海地区予選進出



3年10組
山口 あずみ
(高師台中学校出身)

9月から10月24日にかけて行われた第29回全日本高等学校女子サッカー選手権愛知県大会で、準優勝という結果を収めました。その結果、3年ぶりの東海地区予選出場を果たすことができました。全国大会出場という目標こそ逃しましたが、共に切磋琢磨してきた仲間と東海の舞台で戦えたことを誇りに思います。今大会はコロナウイルスの影響で制限の多い大会となりましたが、開催に漕ぎ着けていただいた関係者の皆様や、声は出さずとも拍手で背中を押してくださった方々に感謝いたします。応援ありがとうございました。今後とも女子サッカー部の応援をよろしくお願いします。

令和2年度愛知県高校 女子サッカーリーグ1部得点王



3年7組
北村 ほのか
(藤岡南中学校出身)

私が高校サッカーで目指した「得点王になる」という目標を、3年目に達成することができとても嬉しく思います。この結果が残せたのは、コロナ禍でも会場運営等してくださった参加各校、素晴らしいパスを出し続けてくれたチームメイトのおかげだと思っています。このようなたくさんの方々のおかげで得点王になることができました。しかし私にはまだサッカー人生が続きます。この結果で満足することなく、次のステージでもっと活躍したいと思っています。後輩がこれからもいい結果を出してくれると思うので、今後とも安城学園高校女子サッカー部の応援をよろしくお願いします。

吹奏楽部

マーチングフェスティバル2020

3年6組

白田 遥香

(犬山中学校出身)

私たちは、11月8日に大阪城ホールで行われたマーチングフェスティバル2020に参加しました。コロナ禍でマーチング全国大会がなくなってしまった私たちですが、全国大会の会場でもある大阪城ホールで演奏することができました。今まで通りの練習時間も確保できない中、例年とは違う形式で行う初めての挑戦。右も左もわかりませんでしたが、仲間や先生・家族の支えのお陰で乗り越えることができました。私たちの演奏演技で感謝の気持ちをお届けできるよう頑張りますので、今後とも安城学園高等学校吹奏楽部をよろしくお願いします。



弦楽部

日本学校合奏コンクール アンサンブル部門金賞受賞!



3年2組

杉浦 奈那

(福岡中学校出身)

昨年に引き続き日本学校合奏コンクールに出場し、アンサンブル部門にて、20人弦楽アンサンブルが金賞、五重奏が銅賞を受賞しました。そして20人弦楽アンサンブルは、弦楽部史上初となる全国3位入賞することができました。ソロ部門では3年相川詩織里さんと私が銅賞を受賞しました。コロナウィルスの影響で思うようにいかないこともありましたが、みんなとステージで演奏できたこと、そして素晴らしい賞を受賞できたことは、私にとって忘れられない大切な思い出になりました。支えてくださった先生やコーチ・保護者の方への感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思います。

演劇部

我が青春に悔いなし



演劇部顧問 毛受由美

大会も演劇祭もなくなり、発表の機会を失ってしまった3年生。マスク着用では相手の表情がわからない、対面を避けた小さい声でのやり取りでは会話がこごちない。発声も演技も思うようにできなかったそんな3年生のために、卒業公演を企画しました。そのタイトルが「我が青春に悔いなし」です。顧問が脚本を書き、教員4名が共演し、部室アトリエに保護者をお招きして1月30日に上演することができました。

私たち演劇部がずっと大切にしているのは「思いを伝える」こと。3年生のさまざまな思いが、保護者の皆さんと我々教員の心に届く舞台を作り上げてくれました。これで3年生は次のステップに進めると思います。これから私たち演劇部は、見ている人の心に響く芝居作りを続けていきます。

学び探究部

マイプロ中部サミットに出場します



学び探究部顧問 北林晃

全国高校生マイプロジェクトアワード2020の中部地区大会に、学び探究部から3チームが出場することになりました。マイプロジェクトとは、身の回りの課題や関心をテーマにプロジェクトを立ち上げ、実行することを通して学ぶ、実践型探究学習プログラムです。学び探究部からは3チームがプロジェクトを立ち上げ、日々の活動の中で作り上げてきました。それぞれのプロジェクトが11月21日に行った校内発表会で当日までの進捗を発表し、マイプロジェクトアワード2020にエントリーしました。審査の結果、全3チームが2月11日に行われる中部地区大会への出場を決めました。この中部地区大会を勝ち抜くと、3月に行われる全国大会へ出場することができます。

なお、2年9組からもこのマイプロジェクトにエントリーし、中部地区大会への出場を決めています。よって、安城学園から4チームが中部地区大会へ出場することとなりました。

クラブ大会試合結果一覧

◇陸上競技部

東海高等学校新人大会(出場予定→大会中止)

2年	池田光太郎	ハンマー投
2年	佐川博也	400mH
2年	竹田美紗	1500m
2年	手島美咲	100m・4×100mR
2年	小山愛結	800m・400m・4×400mR
2年	原田愛音	ハンマー投
2年	野村美咲	走高跳・三段跳
2年	飯田真衣	200m・4×100mR・4×400mR
2年	磯部早良	1500m・3000m
2年	渡辺柚那	3000m
2年	杉浦花音	3000m
2年	中根葵	4×100mR・4×400mR
2年	石原美空	4×400mR
1年	万前瑞葵	200m
1年	石川凜	走高跳・三段跳
1年	小山村結	800m
1年	小松このみ	4×100mR

女子第32回全国高等学校駅伝競走大会 初出場13位

3年	永谷千宙
2年	磯部早良、竹田美紗、小山愛結、渡辺柚那、杉浦花音

2021日本室内陸上競技大阪大会

1年	小松このみ	U18の部	60m
1年	榊原詠美	U18の部	60mYH

◇男子バスケットボール部

第41回安城市選手権大会 優勝
ウィンターカップ愛知県予選 準優勝
西三河地区新人大会 ベスト4

◇女子バスケットボール部

U18 ALL AICHI CHAMPIONSHIP 2020 特別大会
愛知県代表校決定トーナメント 優勝
SoftBank ウィンターカップ2020
第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会 ベスト8

◇男子サッカー部

令和2年度高等学校新人体育大会サッカー競技
西三河支部予選会 出場

◇女子サッカー部

第29回全日本高等学校女子サッカー選手権 愛知県大会 準優勝
第29回全日本高等学校女子サッカー選手権 東海地区予選出場
愛知県高校リーグ1部 第4位
優秀選手賞 山口あずみ
リーグ得点王 北村ほのか
Liga Student東海2020
20年度国体候補選出
伊藤梨那、北村ほのか、青葉結衣
20年度愛知県U18トレセン選出
青葉結衣、山口あずみ

◇卓球部

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会卓球競技
女子学校対抗5位
令和2年度東海高等学校新人体育大会卓球競技
女子学校対抗6位
令和2年度全国高等学校選抜卓球大会出場決定

◇ダンス部

マイナビHIGH SCHOOL DANCE COMPETITION 2021
ONLINE CONTEST WEST vol.2 出場

◇アーチェリー部

秋季アーチェリー大会 新人選愛知県予選
50・30m女子の部 2年崎田茉海 4位
1年生30m男子の部 野上翔2位、尾崎巴紅3位、野々山太陽6位
1年生30m女子の部 本間遥2位、上村恵実里6位
愛知県高等学校新人体育大会アーチェリー競技
70m女子の部 2年崎田茉海3位、全国選抜大会出場
1年園田梨佐 出場
70m男子の部 2年成瀬陽 出場

◇ソフトボール部

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会 ベスト8

◇ハンドボール部

愛知県高等学校新人体育大会 西三河予選会 準優勝
愛知県高等学校新人体育大会 出場
愛知県高等学校ハンドボールリーグ2020

◇女子硬式テニス部

令和2年度西三河選手権大会
個人戦ダブルス 福井こと・榊原詩絵ペア 本戦出場

◇バドミントン部

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会
女子団体 ベスト8
女子ダブルス ベスト16 深谷郁美・篠原妃和、押切涼乃・大西麻由
ベスト32 石丸星・賀河原美咲
女子シングルス ベスト32 深谷郁美、押切涼乃
出場 篠原妃和、石丸星
令和2年度冬季三河大会
女子Sリーグ 優勝
男子Aリーグ 準優勝

◇吹奏楽部

第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会 B編成 優秀賞
第46回マーチングバンド東海大会 中編成の部 銀賞
愛知県アンサンブルコンテスト 西三河南地区大会
金賞・代表 打楽器八重奏・サクソフォン八重奏・フルート五重奏
金賞 クラリネット八重奏・金管八重奏
愛知県アンサンブルコンテスト愛知県大会
金賞・代表 打楽器八重奏
金賞 フルード五重奏
銀賞 サクソフォン八重奏
第47回東海アンサンブルコンテスト 打楽器八重奏(審査待ち)
中部日本個人・重奏コンテスト西三河南地区大会
金賞・代表 打楽器八重奏・金管八重奏・サクソフォン八重奏
中部日本個人・重奏コンテスト県大会
打楽器八重奏・金管八重奏・サクソフォン八重奏(審査待ち)
第18回アンサンブルコンクール(日本サキソフォン協会主催)
サクソフォン八重奏 予選通過(動画審査) 全国大会出場決定
第39回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール
木管楽器部門 高校生の部 5位 山田 美羽
ピアノ部門 高校3年生の部 入選 山田 美羽
第25回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト愛知県大会
金賞・代表 田中柚名 東海大会出場決定
金賞 石川姫麗・小田切美夕・都築陽奈
銀賞 木村日南・佐々木美萌・柴田莉那

◇弦楽部

第9回(2020年度)日本学校合奏コンクール
ソロ&アンサンブルコンテスト全国大会
ソロ部門
ヴァイオリン 相川詩緒里 銅賞
ヴィオラ 杉浦奈那 銅賞
アンサンブル部門
弦楽五重奏 銅賞
弦楽アンサンブル 金賞
第26回定期演奏会 安城市民会館サルビアホール

◇書道部

第35回愛知県高文連 東・西三河支部高等学校書道展

◇美術部

彩雲展 出展

◇学び探究部

全国高校生マイプロジェクトアワード2020 中部地区大会出場
学び探究部から3チーム
2年9組から1チーム

留学生報告

カナダ留学

2年1組
杉浦愛子
(甲山中学校出身)

私は1年の3学期から1年カナダのカルガリーという所に行きました。そこは日本と違い建物が少なく、草原が広がっていてとても綺麗な所でした。春の桜、夏の緑の公園、秋の紅葉、冬の雪景色。どの時期も違う楽しみ方ができました。学校では、授業後は音楽が流れたり、昼はMcdonaldを買って友達と芝生の上で食べたりしてほんとに日本では出来ない体験をすることが出来ました。最初は全然英語を聞き取れず会話が上手く弾まなかったけど、最後の方ではアドバイスとか色んな子に教えて貰ったおかげで前よりも上達することが出来ました。コロナのせいで制限がかかってしまい出来ないこともありましたがかナダにきたことは後悔していないし、本当に来てよかったと思います。多国籍の国でもあり色んな国の事や言語も勉強出来たので良かったです。



生徒会活動報告



後期生徒会方針は「花」です。一人一人の個性を花に例え、団結すれば花束や花冠のようにつながりが生まれます。私たちの目標は、個性を大事にしながら団結することです。助成金学習会、一億円募金、ひまわり里親プロジェクト、大船渡東高校との交流会を行ってきました。今は家庭の不要物を再び役立てる"Pass Life"、創作ミュージカル、新入生歓迎会に取り組んでいます。毎週金曜日の清掃活動、クラブの清掃活動の紹介、自販機や購買などみなさんからの要望を具体化する活動にも頑張っています。

前期生徒会
メンバー紹介

会 長	2年	大塚	亜美	前 林 中 学 校 出 身
副 会 長	2年	高橋	にいな	碧南市立東中学校出身
会 計	2年	及川	あすか	東 山 中 学 校 出 身
書 記	1年	神谷	美葵	矢 作 中 学 校 出 身
渉 外	1年	佐野	潤	篠 目 中 学 校 出 身
渉 外	1年	渡邊	陽斗	東 山 中 学 校 出 身

創作ミュージカル

創作ミュージカル「背景画」製作

創作ミュージカル顧問 山盛 洋介

第33次創作ミュージカル「line」は、昨夏から創作委員会でテーマ議論や物語の創作、脚本作成を行い、12月の実行委員会発足・キャストオーディションを経て、約50名の実行委員による練習・作業が続いています。ウィルス禍のなか、明るい未来のために、私たちは何を考え続けなければならないのか—— そのひとつの答えを、ミュージカルで描きます。4月の新入生歓迎会・一般公演で、多くの皆さんにご覧いただけたらと思っています。

